

各 位

会 社 名 株式会社 フジシールインターナショナル
代 表 者 名 代表執行役社長 CEO 岡崎 成子
(コード番号 7864 東証プライム)
問 合 せ 先 IR室長 後藤 文孝
(TEL 06-6350-1080)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は、会社法第459条第1項に基づき、剰余金の配当等を取締役会の決議によって行うことができる旨を定款に定めております。

記

1. 配当の内容

	期末配当金(決定額)	直近の期末配当金予想 (2026年5月13日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	46円00銭	同左	38円00銭
配当金総額	2,470百万円	—	2,055百万円
効力発生日	2026年6月8日	—	2025年6月9日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、連結配当性向30%を原則とした考え方を維持しつつ、1株当たり配当額の安定的かつ継続的な増加を目指す方針としております。一方で、近年の事業環境の変化やグローバル展開の進展、地政学的リスク等により、一過性または非定期的な要因で当期純利益が大きく変動する可能性が高まってきております。こうした状況を踏まえ、短期的・一時的な利益変動によって配当水準が大きく左右されることを避け、本業での収益力に基づく安定的かつ継続的な配当を行うために、配当方針の一部見直しを下記のように行いました。

- ① 継続的な成長のための投資（技術開発、人材育成、設備投資、M&A）を行う。
- ② 連結配当性向の目標を原則として30%とするとともに、事業環境の変化等を総合的に勘案し、1株当たり配当額の安定的かつ継続的な増加を目指す。
- ③ 一過性または非定期的な要因により当期純利益が大きく変動する場合は当該影響を調整する。
- ④ 有事に備えた安定的な財務基盤の構築及び機動的な自己株式の取得と処分を行う。

上記方針を踏まえ、2026年3月期の期末配当金につきまして1株当たり46円といたしました。

これにより中間配当金（1株当たり35円）を加えました2026年3月期の年間配当金は1株当たり81円となり、連結配当性向は20.9%となります。これは海外子会社のFuji Seal Switzerland AGの閉鎖に関する一時的な特別利益等の影響をFSG. 30達成のための成長投資に活用したく、配当原資から除外したことによります。なお、当該影響を除いた配当性向は30.2%になります。

期末配当金の支払い開始日は、2026年6月8日とさせていただきます。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
当期実績(2026年3月期)	35円00銭	46円00銭	81円00銭
前期実績(2025年3月期)	30円00銭	38円00銭	68円00銭

以 上